

インフォシス、セクターアラームと提携し、クラウドベースの Microsoft Dynamics ERP による成長を促進

欧州の大手セキュリティプロバイダーが、Infosys Cobalt を活用して
8 か国にわたる基幹システムのモダナイゼーションを図る

インド、ベンガルール - 2024 年 7 月 9 日：次世代デジタル・サービスとコンサルティングの世界的リーダーである**インフォシス**（NSE、BSE、NYSE：INFY）は本日、欧州有数のセキュリティプロバイダーであり、世界的な投資会社 **KKR** が一部所有する**セクターアラーム社**と、5 年間の戦略的提携を発表しました。この提携により、インフォシスとセクターアラームは緊密に連携し、オンプレミスで稼働する異種混合のエンタープライズリソースプランニング（ERP）プラットフォームを Microsoft Dynamics 365 Finance and Operations（F&O）に移行し、財務および業務運営モデルの近代化を支援します。インフォシスのデジタルトランスフォーメーションの能力を活用することで、Microsoft のプラットフォームは、セクターアラームの財務の合理化、ビジネスインサイトの獲得、既存の CRM プラットフォームとのシームレスな統合を支援します。

インフォシスがセクターアラームに選ばれたのは、北欧地域での実績、プライベートエクイティ（PE）顧客との取引経験、クラウドを活用した ERP の変革に関する深い専門知識、次世代のアプリケーション管理サービス（AMS）が評価されたためです。Infosys Cobalt のパワーを活用することで、セクターアラームは Microsoft Dynamics 365 F&O によって、ビジネスプロセスの合理化、顧客維持率と獲得率の向上、顧客体験の改善、従業員の体験保護、新システムの総所有コストの削減を実現します。Microsoft Dynamics 365 F&O の導入は、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、イタリア、フランスなど、ヨーロッパ 8 か国において段階的に実施されます。

Sector Alarm の最高デジタル変革責任者、ロレンツォ・ピアンキ氏は、「セクターアラームでは、継続的な成長とお客様に卓越したセキュリティソリューションを提供することに尽力しています。インフォシスと提携し、クラウドベースの ERP ソリューションを導入することは、マイクロソフトとの強力な協力体制と相まって、この目標を達成するための戦略的な一歩です。インフォシスの専門知識は、当社のビジネスをシームレスに拡大し、新たな高みへと到達するために必要な拡張性と業務効率をもたらしてくれるでしょう」と述べています。

インフォシス、製造部門エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼グローバルヘッドのジャスミート・シンは、「セクターアラームとの今回の提携は、インフォシスの高い成長企業に対するデジタル変革推進の専門性を証明するものです。クラウドベースの ERP および CRM ソリューションとマイクロソフトとの長期的なパートナーシップを活用

することで、セクターアラムの野心的な成長を実現するための強固な IT プラットフォームを提供できることを楽しみにしています。この重要な案件の獲得により、当社は欧州のセキュリティシステム市場で信頼されるパートナーとしての地位を確立できるでしょう」と述べています。

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーです。30 万人を超える社員が、人間の可能性を増幅させ、人々、企業、地域社会に次の機会を創出するために働いています。インフォシスは、56 カ国以上のお客様のデジタルトランスフォーメーションを支援しています。40 年以上にわたってグローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験を生かし、クラウドと AI を活用したデジタルトランスフォーメーションを推進するクライアントの舵取りを専門的にを行います。私たちは、AI ファーストのコアでクライアントを支援し、アジャイル・デジタル・アット・スケールでビジネスを強化し、イノベーション・エコシステムからのデジタル・スキル、専門知識、アイデアの移転を通じて、常時オン・ラーニングで継続的な改善を推進します。私たちは、多様な才能が包括的な職場で活躍する、ガバナンスが行き届き、環境的に持続可能な組織であることに深くコミットしています。

インフォシス (NSE、BSE、NYSE: INFY) がどのように御社の次のナビゲーションをお手伝いできるかは、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー

本リリースに記載されている当社の将来的な成長見通し、または将来の財務・業績に関する記述は、1995 年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に基づく「セーフハーバー (免責条項)」の適用を受けることを目的とした将来見通しに関する記述であり、実際の結果や業績がかかる将来見通しに関する記述と大きく異なる可能性のある多くのリスクや不確実性を伴います。これらの記述に関連するリスクと不確実性には、当社の事業戦略の実行、人材の獲得と維持能力、ハイブリッド・ワークモデルへの移行、経済の不確実性、ジェネレーティブ AI などの技術革新、移民規制の変更を含む複雑で進化する規制環境、当社の ESG ビジョン、当社の資本配分方針、当社の市場での地位、将来の事業、利益率、収益性、流動性、資本資源、買収を含む企業行動、サイバーセキュリティに関する期待に関するリスクと不確実性が含まれますが、これらに限定されるものではありません。将来の見通しに関する記述によって示唆されるものとは異なる実際の結果や成果をもたらす可能性のある重要な要因については、2023 年 3 月 31 日に終了する会計年度の年次報告書 (Form 20-F) を含む、当社の米国証券取引委員会への提出書類で詳しく説明されています。これらの提出書類は、www.sec.gov。インフォシスは、証券取引委員会への提出書類や株主への報告書に含まれる記述を含め、書面および口頭による将来の見通しに関する記述を随時追加する可能性があります。当社は、法律で義務付けられている場合を除き、当社によって、または当社を代表して随時行われる将来見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

お問い合わせ先：

インフォシス 東京オフィス 安藤

Email : jo_ando@infosys.com